



# (全国) 参加者募集

## 中国・銀川(ぎんせん)空港 集合・解散

### 広大な砂漠地域と満点の星空の下で学ぶスタディツアー

# 中国内モンゴル砂漠化防止プロジェクト 見聞・体験(スタディ&サポート)研修

現在中国には、267.4万平方<sup>キロ</sup>メートルの砂漠化した土地が存在し、国土総面積の27.9%を占め、砂漠化の状況は局部的には好転が見られていますが、全体としては悪化スピードが年々早まっている。最近5年間で、これらの砂漠化した土地は日本の面積の19%にあたる。(荒地5万2000平方<sup>キロ</sup>メートル、砂漠1万7180平方<sup>キロ</sup>メートル)

そして世界でも陸地の約1/3が砂漠化、もしくは砂漠化の危機にあるといわれています。中国の西北部にある阿拉善地域も例外ではなく、盟内に3つの砂漠(騰格里砂漠、巴丹吉林砂漠、烏蘭布和砂漠)を抱え、黄沙の源でもあります。

ここで2001年から植林をスタートし、2006年より防止研究拠点を作り、様々な活動や研究を行っています。

今後21世紀の環境問題、人口、食料問題を解決する上でも重要な意味があります。砂漠化問題は至急取り掛からなければ手遅れの問題であり、温暖化問題の一因でもあります。

この機会にぜひ広大な砂漠化防止の現場を訪れて、満点の星空とともに見聞・体験してみませんか。

**研修(現地滞在)期間: 2018年8月30日(木)~9月3日(月)5日間**

	月日	場所	スケジュール
1	8月30日 (木)	銀川空港 銀川	午後 銀川空港にて集合(それぞれの便で到着/最終到着19:10目途) 銀川ホテルへ移動 夕夜 開講式、オリエンテーション ■ 夜 <銀川ホテル泊>
2	8月31日 (金)	銀川 巴音彦特 吉蘭泰	午前 阿拉善までのバス移動中に、植林の取組みに関する講義 吉蘭泰漢方薬栽培プロジェクト現場視察/塩湖見学 午後 阿拉善博物館、賀蘭草原(岩絵)見学 ■ 朝 昼 夜 <阿拉善ホテル泊>
3	9月1日 (土)	センター トングリ砂漠	午前 センターにて漢方薬播種作業、砂漠化防止プロジェクトセミナーI 午後 砂漠化防止プロジェクトセミナーII、トングリ砂漠オアシスへ 夕夜 キャンプファイヤー、満点の星空 ■ 朝 昼 夜 <オアシス泊>
4	9月2日 (日)	トングリ砂漠 銀川	午前 オアシスから沙漠横断/沙漠徒歩体験(3時間程度) 午後 西夏王陵の墓見学 夕夜 懇談(意見交換)会 ■ 朝 昼 夜 <銀川ホテル泊>
5	9月3日 (月)	銀川 上海・北京・西安それぞれ	午前 閉講式 銀川ホテルから銀川空港へ移動 銀川空港にて解散(それぞれの予約便へ搭乗・移動) ■ 朝

## 《研修実施・募集要項》

1. 事業企画 公益財団法人オイスカ 北海道支部
2. 研修実施 オイスカアラ善（アラシャン）沙漠生態研究研修センター
3. 後援  
（申請予定） 中華人民共和国駐札幌総領事館、北海道日中友好協会、  
日本私立大学協会 北海道支部
4. 研修目的 次の主要な実施事項を組入れ、参加者本人のグローバル化や国際化（国際人）対応の自己研鑽を積むこと（機会の提供）を目的として実施。  
  
参加者の年齢制限は設けず、将来を担う青年層の参加を促すための対応（大学の夏休み等の期間に開催など）に配慮して実施。  
  
**（主要な実施事項）**
  - a. 海外開発協力プロジェクトの把握（目的、背景・経緯、実施内容等）と理解促進
  - b. 同プロジェクトの現場や成果等の視察および体験
  - c. 同プロジェクトと国や地域における持続可能な開発（ESD視点）の考察と展望
  - d. 訪問地域の環境保全と産業発展に繋がる同プロジェクトへの支援（サポートの拡充・継続）
  - e. 地元関係機関への表敬訪問、地域住民や文化の交流促進
5. 実施形態
  - ・参加者（ご本人、グループの仲間）が、研修期間（集合・解散）にあわせ、出国から帰国までの個人旅行（航空券、ホテル等）および海外旅行保険を手配する形態で実施（低廉な航空運賃を選択可、本研修以外の旅程を自由に追加可）
  - ・当方（研修実施機関）は、研修準備と研修実施に必要な交通・宿泊・食事等を手配し、これを参加費で賄う。研修プログラムの実施は、安全第一で行うものとします。
6. 研修期間 8月30日（木）～9月 3日（月）
7. 募集人数  
・期間 募集人数：30名（最少催行人数20名／この人数に満たない場合、本研修は中止します）  
募集期間：5月25日（金）～7月10日（火）／但し、定員になり次第募集締切
8. 参加費 お一人 69,000円 銀川空港での集合から解散までのバスチャータ料、2人1部屋の宿泊代、食費、準備・実施経費、プロジェクト支援金(\*1)



## 《参加条件》

1. 参加申込  
と参加費 申込書（指定様式）提出と参加費納入（別途請求書を送付・振込）を以って参加決定
  - ・入金後、預り書（仮領収書）を発行、後日現地で領収書（参加費、支援金）を発行します
  - ・参加決定にあわせて訪問プロジェクトのサポーターとして登録(\*1)を行ないます
2. 保険加入 参加者本人が出発から帰国までをカバーする海外旅行保険に必ず加入していただきます。研修（滞在）中に事故や病気等があった場合は当該保険を利用していただきます。当方（研修実施機関）は研修中の事故等の責任・補償は負わないものとします。
3. 関係書類  
の提出 研修（宿泊等）を円滑に進めるため、パスポートのコピー（申込書に添付または取得後に提出）および海外旅行保険証のコピー（保険加入後）を提出していただきます
4. 高校生以  
下の参加 中・高校生の単独の参加は、親権者の承諾書の提出を条件とします。  
小学生以下は親子参加を条件とします

### (\*1) 訪問プロジェクトのサポーター登録と支援金について

本研修のプロジェクト支援金は、訪問プロジェクトのサポートを目的とし、訪問プロジェクト（オイスカ本部の管理・事務費の充当含む）への支援を行うことを参加条件でサポーター登録とともに支援金（1万円）を参加費に組入れます。帰国後は、オイスカ賛助会員への入会のお願ひならびに訪問プロジェクトのサポーター登録・支援金の継続をお願いいたします。（次年度以降も毎年継続をご依頼いたします／本登録は申し出により、いつでも退会・解除できるものとします）

## ◆中国・内蒙古自治区阿拉善について

阿拉善左旗は内モンゴル自治区の西部、東経 103° 21′ ~106° 51′、北緯 37° 21′ ~41° 52′。全旗の土地は南北に 495 km、東西に 214 km、総土地面積は 80412km<sup>2</sup> あり。

### 阿拉善盟位置图



阿拉善盟（盟＝日本の県にあたる）は、中国北部、アジア大陸の腹部に位置し、総面積は 118.3 万 km<sup>2</sup>、そのうち草原面積は 87km<sup>2</sup> である。人口は 2300 万人、そのうちモンゴル民族は 370 万人、その他漢民族、ダウル族、オロンシュン族など合わせて 49 もの民族が住んでいる。

気候は大陸性気候で年平均気温が 6~7℃、年間降水量は 40~200mm、無霜期が年間約 160 日、日照時間は東部が 2700 時間、阿拉善盟を経て西部では 3400 時間以上にもなる。日本を例にして

比較すると、東京は温暖湿潤気候で年平均気温が 15℃前後、年間降水量は 1200mm 前後（日本海側や西日本の太平洋側では年間 4000mm を超える）、日照時間が年間 2000 時間程である。降水は 7.8.9 月に集中する。近年、砂嵐が頻繁に発生し、当地の人々の生活に大きな被害をもたらしている。

総括すると、内蒙古という土地の日照条件は十分であるが、降水量が極度に低く、夏は涼しく（日射はきついが）冬は乾燥と寒さが厳しい環境だといえる。

1000ha の場所は、阿拉善盟左旗巴潤別立鎮沙勒扣岱嘎查西側沙漠辺縁地帯で銀川より車で 2 時間、阿拉善巴音浩特から南西に 25 km の観光地月亮湖の近く、周囲は砂丘が迫っている中に位置している。

### 内蒙古の沙漠化地域

「モンゴル」という響きから想像するものと言えば、モンゴル相撲・ゲル（パオ）・馬乳酒、そして何より見渡す限りの草原ではないでしょうか？しかし、阿拉善地域にて一面に広がる草原を見ることはありません。見渡す限りの砂とゴビ（小石の砂漠）だけである。沙漠と沙漠化地域は別物である。

沙漠は元来 1995 年の IPCC (Intergovernmental Panel Climatic Change, 気候変動に関する政府間パネル) の報告では UNCED (United Nations Conference on Environment and Development, 環境と発展に関する国連会議) が 1992 年 6 月に採択した「乾燥・半乾燥及び乾燥した半湿潤地域における土地悪化で気候変動や人間活動を含む因子に原因のある現象」という定義をとっている。また、乾燥・半乾燥及び乾燥した半湿潤地域の表現として、沙漠化は蒸発散量 (pet) と降水量 (p) との比で数値化されている。それによれば、世界中では約 1300 万 km<sup>2</sup> の陸地面積が元来の沙漠か沙漠化の対象となる地域である。



### 内蒙古の沙漠化

内蒙古の遊牧民族は定住型生活になった。それも沙漠化の原因であるという説がある。それは本来の遊牧生活では家畜が食べた後の草本類が巡っている内に復元する筈が、定住により復元する間もなく、そして復元する事も不可能なほどに食べられてしまっている事、即ち過放牧のせいである。砂丘前面の砂礫平原ではその荒漠草原では、その荒漠草原に対して過放牧を行うと沙漠化が生じやすくなる。これは乾燥荒漠地帯の砂漠形成の一つの形であり、



他に風的作用によって流動砂丘が移動してオアシスに進入・侵入して沙漠が拡大するパターンがあるが、流動砂丘は高さ 20m程度砂丘で年間 5~10mの速さで進む。これら二つの因子の相乗効果によって、沙漠化は現在急速に進んでいるのである。

### ◆持ちもの（参考）

◎…必携 ○…便利なもの △…なくてもいい

◎パスポート（コピー）、◎現金、航空券、◎旅行障害保険証（コピー）、◎石鹸（ホテルのもの）、◎タオル、歯ブラシ・歯磨、○日焼け止め・虫除け・虫刺され（液体物は手持ちでは持ち込めません）、◎チリ紙、○ヌレティッシュ、◎シャンプー、◎セーター、◎シャツ、◎下着、◎薄手のセーター、○軍手◎帽子（必携！）、◎靴下、◎持病の薬、◎外傷薬、◎時計、◎ボールペン、○携帯雨具、◎ビニール袋、△サングラス、○サングラス、○カメラ、○フィルム（沙漠にはお店はない）、○懐中電灯、○水筒（朝、お湯をもらう）、◎ノート

### <服装と体調管理について>

朝晩少し冷えます。気温は10℃~30℃と旅行にはいい時期ですが朝晩急に寒くなったりしますが基本的にまだ暑い時期です。服装は日差しが強いので、帽子は必携です。水は硬水なので下痢をすることがあります。日本の正露丸などの下痢止めでも一時的なものには効果があります。常備薬をお持ちの方は携帯してください。いざというときのために、頭痛薬、下痢止め、抗生物質、消毒薬くらいを持参されると良いと思います。又、お渡りするミネラルウォーターで意識的に水分の供給を図るようにしましょう。休めるときに休んで疲れをためないことが一番の予防法です。気候が乾燥しているために、飴を持っていくと良いでしょう。砂漠では時折風が吹くので、マスクやサングラスを持っていくと良いでしょう。出発までに体調を整えておいてください。

スケジュールにある場所について（参考）



<阿拉善盟の地図（一部分）>

### ■参考. 本海外研修（事業企画）の経過・経緯

昨年、オイスカ北海道支部（60歳を超えた男女4人の調査団員）は中国内蒙古自治区にある内モンゴル砂漠化防止プロジェクトを訪れ、砂漠地域の厳しい環境の中で生活や営みをしている地域（発展が遅れている地域）であることを確認し、同地域や同プロジェクトに対してはさらなる支援・応援が必要であると確認しました。

この砂漠化防止プロジェクトは、富樫智所長（オイスカ阿拉善沙漠生態研究研修センター／農業博士）が中心となり地元住民と信頼関係を築きながら着実に成果をあげており、広大な砂漠地域で奮闘・献身的に貢献している姿に感動しました。こうした面からも同プロジェクトに対する支援や応援を後押しすべきと認識した次第です。

同プロジェクトの応援策を検討した結果、多くの方々に同地域や同プロジェクトを訪れていただき、見聞して、体験してもらい、文化や歴史に触れていただく（通常の旅行では得られない経験）などの機会提供が最も効果的と考え、本海外研修を企画した次第であります。

また、本海外研修の参加にあたっては、社会のグローバル化や国際化対応（国際人）に向けた思考・自己研鑽を積むための目的にも繋がり、特に日本の将来を担う青年層に参加を促すことで少しでも国際社会に通用できる人づくりにも微力ながら寄与できると考えております。